

MINI × OZ wheels

最高出力 218PS/330N・mのモーターで機敏な走りもできるミニの新しいBEVファミリー、エースマンSE (J05) の足もとにも、機能性はもちろんデザインに優れたオーゼット・ホイールが良く似合う。本邦初公開のマッチング検証を紹介しよう！

話題のエースマンに
適合するホイールサイズを検証！

ミニのエースマンEとエースマンSEは、4080ミリ×1755ミリ×1515ミリという、国産車で言えばヤリス・クロスなみのコンパクトなボディを持つBEVだ。一方でカントリーマンが4445ミリ×1845ミリ×1640ミリという、ラージとまでは言わないが、かなり大きなSUUVとなったため、ある意味で、このエースマンがミニらしさを残した電動SUUVという位置づけとなっている。

そんなエースマンのSEだが、走りはハッチバックモデルに近い俊敏さがあつて、とても軽快。だからこそ考えたいのがホイールマッチング。せっかく走りが楽しいのなら、ルックスもそれに沿ったイメージでまとめたい。

そこで今回、オーゼットジャパンの協力で、サイズ実測をしながらのホイールマッチングを実施。ホイール交換によるイメージチェンジを狙いたい人は、このイメージをぜひ参考にしてみてください。

Special Thanks : オーゼットジャパン <https://www.oz-japan.com>
Photo: 古閑章郎

BEVもオーゼットホイール!!

ミニエースマンSE (J05) フットワーク大検証!



HYPER GT-HLT

ハイパー ジーティーHLT



検証サイズ
19 x 8.0J +45

ハイパフォーマンス系モデルをターゲットに開発された『ハイパーGT HLT』は、軽量であるのももちろんだが強度や回転精度などあらゆる面でのトータルバランスに優れたホイールだ。エースマンSEにマッチングするのはインセット45の19×8.0Jサイズ。リムにむかって尖っていく10本のスポークデザインが、ストレートにスポーツ性を演出してくれている。サークルデザインのセンターパッケージが、落ち着いた印象を与えているため、シチュエーションを問わずフィットするところも見逃せない。



存在感溢れるデザインに
優れたトータルバランス



正直、エースマンSEの純正ホイールを外すのははじめて。センターボア径やリブの出幅なども計測しておいた。



高負荷なBEVの走りを支える
オーゼットのパフォーマンスホイール

センターから盛り上がり、リムにむかって落ちていくスポークが、足もとに立体感を演出してくれる。

ESTREMA GT-HLT

エストレマジーティー HLT



検証サイズ

18 x 8.0J +45

イタリア語で過激を意味するネーミングを与えられたのが『エストレマ GT HLT』。ボルトホールからスポークへと繋がるデザインはメカニカルな雰囲気を出し、それがクルマに装着したとき、アグレッシブさを感じさせてくれる。今回セットしたサイズはインセット 45 の 18 x 8.0J サイズだが、センター部も含んだデザイン処理のおかげでホイールの小ささは感じられない。もちろんキャリパーとのクリアランスにも問題は無し。18 インチサイズはタイヤバリエーションが多いというメリットもある。

アグレッシブなスタイルと
高次元な機能性での融合

Rally Racing

ラリーレーシング



検証サイズ

17 x 7.0J +48

世界中のモーターファンを魅了した 伝説のレプリカホイール

エースマン SE は純正ホイールサイズが 18 x 7.5J、タイヤサイズは 225/45R18 だが、エースマン E には 17 x 7.0J、205/55R17 というサイズのタイヤホイールが装備されている。そこでエースマン SE にも 17 インチが装着できるのでは…、ということで、ラリーレーシングで試してみた。いわずとしれた名作ホイール、雰囲気はバッチリだし 205 幅とタイヤが細ければそのぶん面圧がかかるため、スタッドレスタイヤを履かせると、イメージも性能もバッチリとキマる。





検証サイズ
18 x 8.0J +45



Sparco FF3

スパルコ エフエフスリー



軽量性と剛性、美しさを追求した オープンY字スポーク

センタパッケージをギリギリまで削り、ホイールデザインの一部として取り入れることで5Yダブルスポークの脚の長さを強調しているのが、スパルコFF3のポイント。さらにそのスポークは立体的な造形を採用していることから、ブレーキキャリパーとのクリアランスも大きい。今回試してみたのはインセット45の18×8.0Jというサイズ。リムを圧延して成型するフローフォーミング製法を採用していることから軽く強靱なこのホイールは、エースマンSEのイメージにぴったりなものと言えるだろう。

oz japan
オーゼット ジャパン

<https://www.oz-japan.com>
e-mail: info@oz-japan.com



世界各国の過酷な強度基準をクリア 常に新しい方向を模索し続ける オーゼットホイール



電気モーターで駆動するBEVは、ICE（内燃機関）での駆動とは違ってアクセルを踏んだ瞬間から最大トルクが発生する。さらに、大型の駆動用バッテリーを搭載していることから車重が重く、車両重量はエースマンSEでも1670kg、エースマンSEは1740kgもある。つまりはそのぶん、ホイールへの負担が大きい。

そこで大事なのは、ホイールが品質基準に従った強度を持っているかどうかということだ。日本での軽合金ホイールの技術基準であるJWLと、それに対する適合試験合格を現すVIAマークがあるものや、欧州基準であるTUV規格に適合しているホイールを選ぶことが大事。もちろんオーゼットのホイールは適合品だ。



ITALIAN RACING TECHNOLOGY O·Z wheels

Japanese Branch
O·Z Japan LTD.

e-mail: info@oz-japan.com
Official web site: <http://oz-japan.com>



>> パーソナル・リング・システム
別途オプションパーツを購入する
ことでセンターキャップ周りのリング
カラーを変更可能。
カラー：レッド、ブルー、グリーン、
グレイ、オレンジ、ブラック



5 スターデザインを採用したセンターパーツは
見事な作り込み。車両にセットしたとき
はもちろんだが、単品見を愛してを感ずる。



Estrema GT HLT エストレマ ジーティー エイチエルティー

サイズ：18x8.0J～19x8.5J
価格：8万6900円～10万4500円
カラー：リングカラーはホイールカラーにより決定。ステインブラック(レッドリング)、
ハイパーチタニウム(レッドリング)、マットブロンズ(ブラックリング)
適合モデル：F54/60系JCW



Superturismo LM スーパーツーリズム エルム

サイズ：17x7.5J～19x8.5J
 価格：6万7100円～9万4600円
 カラー：MRS / マットレースシルバー、MG / マットグラ
 ファイト、MB / マットブラック
 ※OPセンターロックカバー
 価格：1万3000円(税別) / 1個
 カラー：ブラックリング/レッドリング
 (マットレースシルバー/マットグラファイト/マットブラック)
 適合モデル：F54/60系JCW



耐久レースで使用されていたレーシングホイールからインスピレーションを得て開発された冷却性の高いデザインがポイント。センターロックカバーは別売オプションとなっている。



センターキャップカバーは、同梱の専用キーを使えば簡単に外すことができる。



マットグラファイトやマットブラックモデルにオプションのセンターロックカバーを装着すると、さらに印象は変わる。マットグラファイトやマットブラック専用のセンターロックカバーもオプション設定されている。



Leggera-HLT レッジャー エイチエルティー

サイズ：17x7.5J～20x8.5J
 価格：7万8100円～12万8700円
 カラー：グリジオコルサブライト、グロスブラック、レースゴールド
 適合モデル：F54/60系JCW



スポーツ性はもちろんだが、プレミアムなクオリティを感じさせる優美さもレッジャー HLT の魅力といえるもの。走り一辺倒ではないアーバンユーザーにもオススメ。



Superturismo Evoluzione スーパーツーリズム エボルツィオーネ

サイズ：18x8.0J～20x8.5J
 価格：8万6900円～11万5500円
 カラー：グロスブラック、レースホワイト
 適合モデル：F54/60系JCW
 18×8Jインセット 45、5H112というサイズは、ミニ専用として開発されたもの。



スーパーツーリズム・エヴォルツィオーネは、初代スーパーツーリズムモ、スーパーツーリズムGTに続く、第三世代のスーパーツーリズムモと言えるモデル。

※価格はすべて税込み

セントラルロックカバーを装備することで、レーシングカーのセンターロック風なイメージを演出できる。



Superturismo AERO

スーパーツーリズム アエロ

サイズ：18x8.0J ~ 20x8.5J
価格：9万9000円~13万9700円
カラー：スターグラファイト
適合モデル：F54/60系JCW



19インチと20インチのみをラインアップするウルトラレジェーラHLT。3ドアモデルでは19インチサイズなら装着可能。ビッグサイズのキャリパーに交換しても問題ない大空間も魅力。



『アエロフラップ』は、スポーク間ごとにひとつのパーツとしてつくられていて、ホイールにしっかりと固定されている。表面の整流とともに、内部の熱を積極的に排出してくれる。



Ultraleggera HLT

ウルトラレジェーラ エイチエルティー

サイズ：19x8.0J ~ 20x8.5J
価格：11万円~12万7600円
カラー：マットブラック
適合モデル：F56/54/60系JCW

美しいデザイン性と レーシングテクノロジーの融合

Formula HLT

エフォーミュラ エイチエルティー

サイズ：17x7.5J ~ 19x8.5J
価格：6万8200円~10万2300円
カラー：グリジオコルサ、マットブラック、レースゴールド
適合モデル：R/F系、F56/54/60系JCW

オーゼットとパートナーシップを結ぶ、数々のF1チームとの技術が創造した先進のホイールエレメント。



6組のダブルスポークデザインが走行中にも豊かな表情を見せてくれる。クロスオーバーやクラブマンの持つ、ボリュームの大きなボディにも負けない存在感を足もとでアピール。

Ultraleggera

ウルトラレジェーラ

サイズ：16x7.0J ~ 18x8.0J
価格：5万3900円~7万9200円
カラー：クリスタルチタニウム、マットグラファイトシルバー、マットブラック、レースゴールド
適合モデル：R/F系、F56/54/60系JCW



レーシングテクノロジーがふんだんに盛り込まれ、走りのイメージを大いに感じさせるスポーティなスポークデザインは、装着する車種を選ばない完成度の高さ。

HyperGT HLT

ハイパージーティー エイチエルティー

サイズ：17x7.5J ~ 20x8.5J
価格：7万5900円~12万6500円
カラー：スターグラファイト
適合モデル：F56/54/60系JCW



Rally Racing ラリーレーシング

サイズ：16x7.0J～19x8.5J 価格：4万6200円～9万3500円
 カラー：グロスブラック 適合モデル：R/F系、F54/60系JCW



往年のホイールデザインをモチーフに、現代のテクノロジーを活かして作られた「ラリーレーシング」。16インチからとサイズ展開も豊富。

ホイールが巻き起こす乱流の制御と、ブレーキ冷却を両立させる狙いから生まれた機能優先デザインだが、デザインの妙を感じる。



O.Z.[®]
RACING



Rally Raid ラリーレイド

サイズ：17x8.0J
 価格：7万3700円
 カラー：グロスブロンズ

硬質なイメージのスポークデザインが近未来的なイメージ。モダンな雰囲気のカスタマイズにピッタリなモデル。



Leggenda

レジェンダ

サイズ：17x7.0J
 価格：6万7100円
 カラー：グリジオルサブライト、マットブラック、レースホワイト
 適合モデル：R56系

コンパクトカー専用設計によるレーシーなスタイルとパフォーマンス



※価格はすべて税込み

DRS ディーアルエス

サイズ：18×8.0J 価格：6万500円
カラー：グロスブラック 適合モデル：F54/60系JCW

ボルトホールから2本の伸びやかなスポークがリムへと向かうのが特長。強度も高く軽量なのでスポーツ性を重視する人におすすめ。

RECORD レコード

サイズ：17×7.5J
価格：5万1700円
カラー：マットグラファイト/グロスブラック
適合モデル：F54/56/60系

サイズ：18×8.0J
価格：6万500円
カラー：マットグラファイト/グロスブラック
適合モデル：F54/60系JCW

硬質なイメージのスポークデザインが近未来的なイメージ。モダンな雰囲気のカスタマイズにピッタリ。

 **sparco**
Wheels

PODIO ポディオ

サイズ：18×8.0J
価格：6万500円
カラー：グロスブラック
適合モデル：F54/60系JCW

センターキャップからスポークを伸ばすことで、サイズ以上の大きさがアピールできる。駄肉のない造形がJCWのスポーツ性にもマッチする。

GRAVEL グラベル

サイズ：18×8.0J
価格：6万3800円
カラー：マットグラファイト/マットブラック
適合モデル：F54/60系JCW

リム部をタービン状にしたことで、走行している時のホイール内部の空気の排出性も良く、ブレーキ冷却効果も高い。高剛性であるところも魅力だ。